

公表:2022年3月15日

事業所名 放課後等デイサービス 熊の家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		広めのスペースであり、その中でも●●やパソコン部屋を設置。	
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		外出時はマンツーマン対応。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		車イスが入る広めのトイレ段差部分はスロープ設置。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		業務前、終了時等に職員ミーティングを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施し手保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		集計後、結果を全員職員で把握し、改善策について会議を行っている。	ホームページや月一便りを活用して、避難訓練の様子やスタッフ紹介、日々の様子等、現場の中がみえやすいよう工夫に努める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	7	第三者による部外評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		定期的な研修。月一回全体会議を実施。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		計画書は半年に一回。保護者様と面談し、更新を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		日々の日誌にて個人の様子を記載している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		ローテーションで日々の担当を決めている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		職人だけで決めるものではなく児童の意見を尊重。	イベントや取り組み活動については今後も児童や保護者様の意見を尊重そ希望に沿った内容を実施していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		個人のニーズに合わせた内容の課題を実施。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		日替りイベントを通じて個別、集団を組み合わせた取り組みを実施。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われて支援の振り返りを行い気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		開始前のミーティングで確認。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとことを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		終了時の振り返り。日誌の記入翌日、日誌をもとにミーティング。	
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		日誌の記入、確認を毎日全職員が行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	<input type="radio"/>		一人一人担当を決め半年に一度計画書の見直し、更新を行っている。	支援の方向性を統一するために職員だけでなく関わりのあるパート・アルバイト等全スタッフと意見交換を行い、計画書の見直し、更新を行って行く
	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		定期的実施されている担当者会議の参加。	区役所、子相関連部署との連携を密に取り、学校との繋がりを大事に。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>			
	24	学校を卒業し放課後等デイサービス等事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>			
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		最近ではオンライン研修に積極的に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		箕面事由学園の学生との交流や他のデイとの交流会を実施している。	感染症予防として直接対面での交流はできていませんが、ZOOM等を使用してオンライン交流に切り替え定期的実施している。
	27	【地域自立支援】協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>			職員1~2人参加できるように予定を調整している。
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		連絡帳や送迎時もしくは面談時に引き継ぎを行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		<input type="radio"/>	ペアレントトレーニング研修会に参加。	研修会に参加し、職員同士で情報共有をしている。また、学んだことを保護者(家族)支援に繋げられることを目標にしている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時に説明の時間を設けている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>			日頃から引き継ぎの時間を大切に、保護者様が相談しやすい環境作りに取り組んでいる。
	32	父母の会も活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>			行事を通じて定期的に保護者間の交流が出来ないか検討中(ヨガ教室、茶話会、バザー等)。
	33	子そもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		月に一度、くまだよりやイベント表を発行。	
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>		個人情報記載の書類は鍵付ロッカーにて保管。	日々の送迎等名前が記載されているものはデイ終了時にシュレッダーで処理し、漏洩予防している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>			
	37	事業所の行事の地域住民の招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		<input type="radio"/>		地域住民のためにゴミ箱等の設置を含め積極的にコミュニケーションを図っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>			緊急時対応、感染症マニュアルを作成し保管しているが、防犯マニュアルは未完成であるため、作成に努めている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		年に二回の避難訓練。	シュミレーションを行い、訓練している様子を記録しているが保護者様への訓練報告が出来ていなかった。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		虐待防止権利擁護等の研修に参加。	研修で学んだことをもとに資料を作成し、事業所内研修を行っている。
	41	どのような場合にやむをえず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>		契約時に保護者様へ説明にご理解いただいている契約書にも説明した内容を記載している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		<input type="radio"/>	アレルギーについて冷蔵庫扉に資料貼付	アレルギーの有無について全体で情報を共有し、周知しているが、指示書の確認が出来ていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		ファイリングしていつでも確認できるよう管理している。	緊急時の対処についてもすぐ確認できるように事務所や送迎車内に資料を置いている。